

## 財政支出で国保料(税)を下げろ！国保運協に公募枠を！ 県議会に7,971筆の請願署名を提出！

11月25日、静岡県社会保障推進協議会は、「国保料(税)引き下げを求める請願署名」7,971筆を山田誠県議会議長に提出しました。

県社保協加盟団体の代表参加者(7名)から、「国保単位化から3年目となり、法定外繰り入れをやめ、保険料も値上げする自治体が増えた。県の財政支出により引き下げてほしい」「コロナ禍の中で各団体とも署名活動が大変ではあったが、それでも予想以上の8千筆近い署名が集まった。被保険者の思いをしっかり受け止めてほしい」「この間、国保に入っている人たちは収入が減り、コロナ禍の中、見通しの立たない苦しい生活をしている。国保を国民皆保険制度として守るよう議論してほしい」「併せてそういう議論のできる国保運営協議会にするために公募枠をぜひ」と訴えました。山田誠議長は「議会のなかでしっかりと議論していきたい」と答えました。

※今回、署名にご協力頂いた団体・個人の皆様、コロナ禍

で大変な中ありがとうございました。12月16日が第2次(最終)提出になりますので、15日までに県社保協事務所(民医連事務所内)までお送りください。

### 静岡、浜松、三島も「国保料引き下げを」の署名、11月議会に！



小高事務局長から山田県議会議長(真ん中右)に

「静岡市医療と福祉をよくする会」は11月24日、静岡市議会に5,921筆を提出しました。参加者からは「消費税増税とコロナ不況で暮らしと営業が深刻ななか、連続値上げではなく引き下げを」と訴え、繁田議長は「低所得者のみなさんからの下げてほしいという要望は承知している」と述べました。

「介護・医療と社会保障を考える市民の会」(浜松)では、浜松市議会へ11月2日に昨年を上回る5,255筆を提出、12月3日に意見陳述を行い、14日に本会議で採決する予定です。

また「三島市医療と福祉をよくする会」も今年初めて「国保料引き下げと子どもの均等割の全額免除を求める」署名に取り組み、11月18日、566筆を提出しました。事前の会派回りでは、「国保は県になったと思っていた」という議員もいたとのこと。



松原事務局長から繁田静岡市議会議長(左から4人目)に

### 静岡県社会保障推進協議会第27回総会の日程について

日時：2月13日(土)、13:30~16:30

会場：調整中